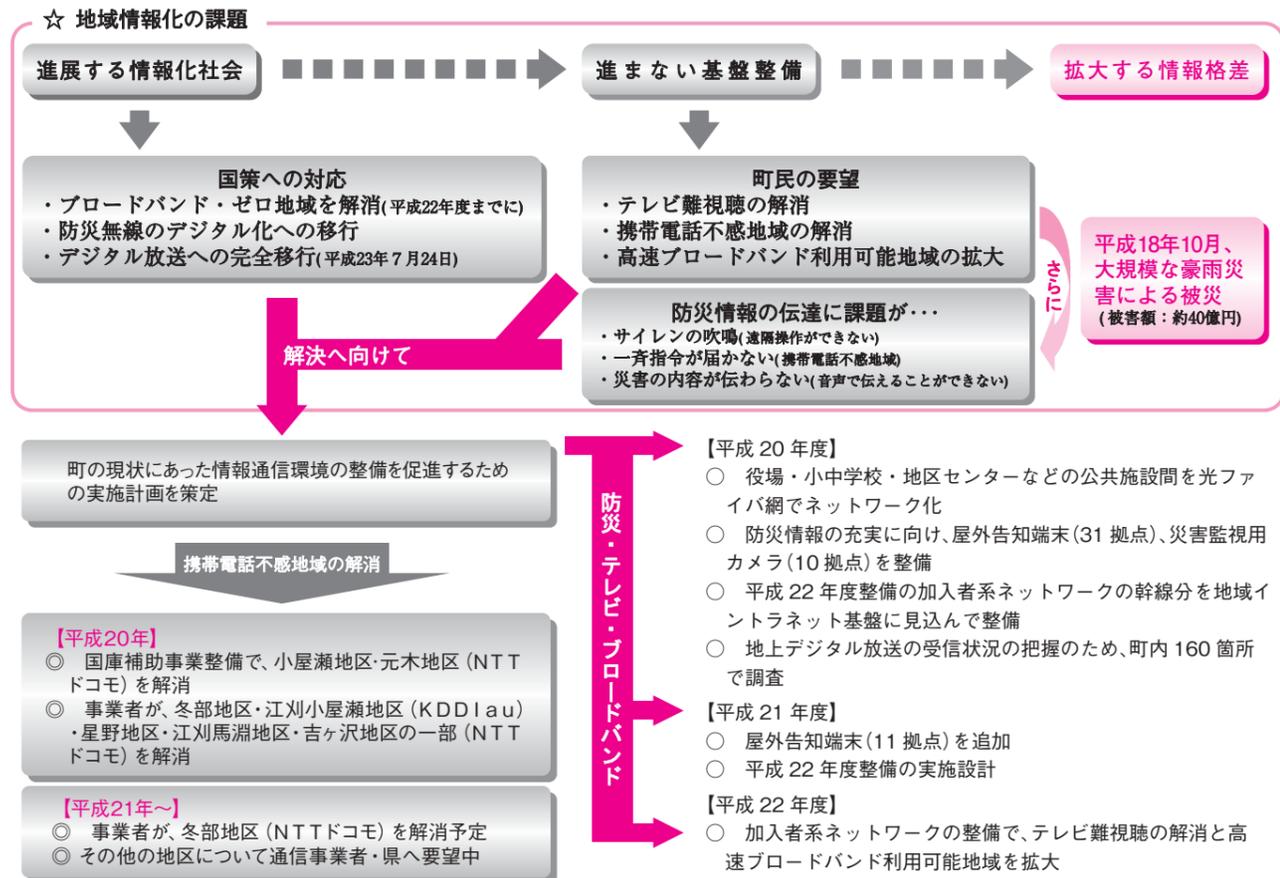
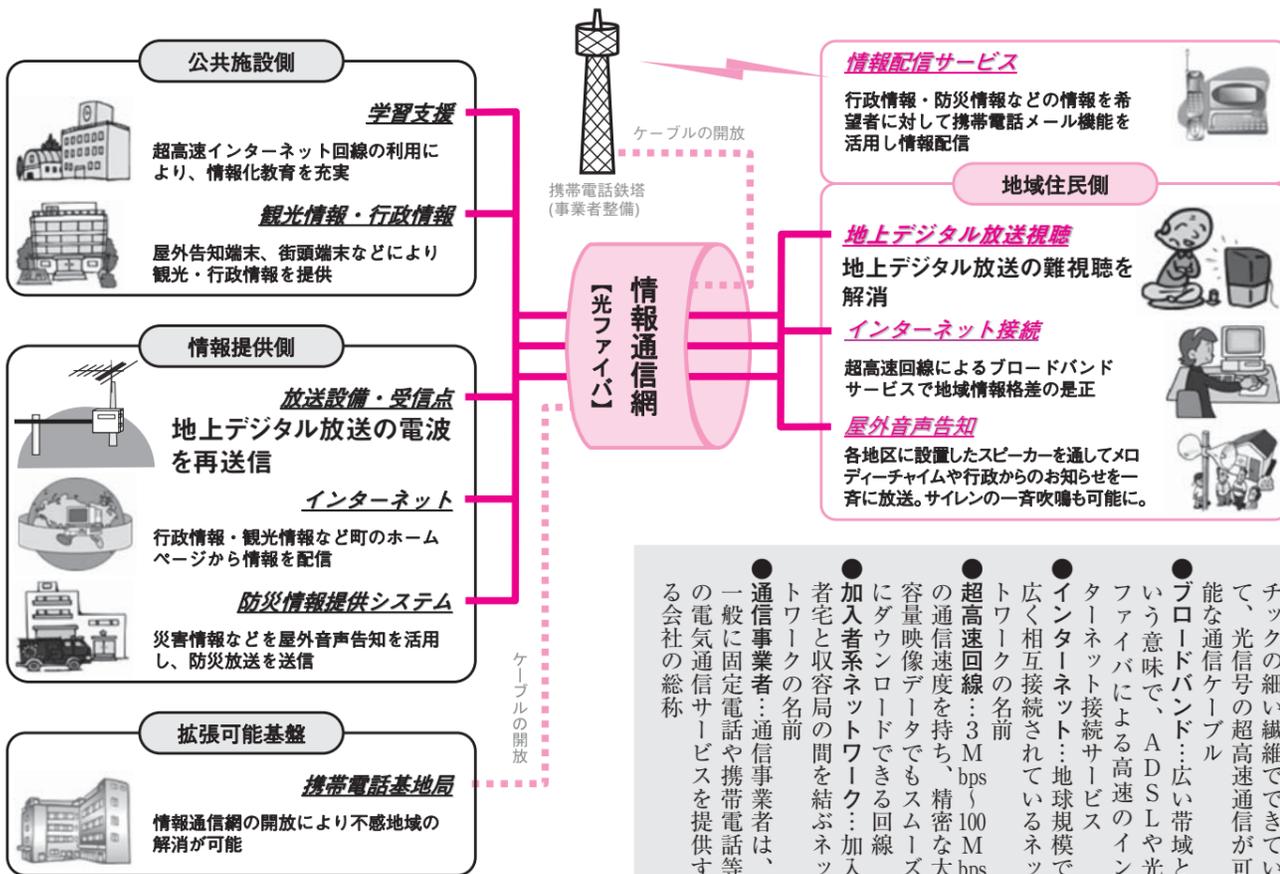


地域情報化における課題と取り組み



事業の概略イメージ



用語の解説

- 屋外告知端末(屋外音声告知) : 屋外に設置するスピーカーで、サイレン、メロディーチャイムなどを吹鳴するほか、防災・行政情報などを音声により伝える端末
- 公衆(街頭)端末 : マウス、キーボードなどが無く、銀行のATMのように画面にタッチすることで操作ができ、無料で利用できるパソコン
- 光ファイバ : ガラスやプラスチックの細い繊維でできていて、光信号の超高速通信が可能で通信ケーブル
- ブロードバンド : 広い帯域という意味で、ADSLや光ファイバによる高速のインターネット接続サービス
- インターネット : 地球規模で広く相互接続されているネットワークの名前
- 超高速回線 : 3Mbps~100Mbpsの通信速度を持ち、精密な大容量映像データでもスムーズにダウンロードできる回線
- 加入者系ネットワーク : 加入者宅と収容局の間を結ぶネットワークの名前
- 通信事業者 : 通信事業者は、一般に固定電話や携帯電話等の電気通信サービスを提供する会社の総称

今後のスケジュール

平成21年			平成22年			平成23年		
1	2	3	1	2	3	1	2	3
1	2	3	1	2	3	1	2	3
ブロック別住民説明会 (地区からの要望により実施)			地デジ加入促進期間(加入申込の受付)			地デジ放送サービス開始 (4/1)		
			加入者宅引き込み工事			アナログ放送終了 (7/24)		
			光ファイバ敷設工事			ブロードバンドサービス開始 (随時・加入受付)		

昨年4月、国のモデル事業「条件不利地域におけるブロードバンド化促進のための調査研究事業」のモデル地域に選ばれ、地域情報の格差是正のための情報通信環境の基盤整備に向けた計画づくりが行われました。

町は、この計画を基に、地域情報化基盤の早期実現に向け、本年度は施設を中心とする地域イントラネット基盤整備事業を国の補助を受けて進めています。

都市部との格差を解消

町は、平成18年度の災害を教訓に町民が「災害に強く安全で安心して暮らせる」ために、昨年12月に提出された調査研究会の報告を基に「防災情報の伝達」「テレビ難視聴の解消」「携帯電話エリアの拡大」「ブロードバンド利用可能地域の拡大」などの情報通信環境の基盤を一体的に進めることにしました。早速、本年度から基盤整備に着手しています。

テレビ難視聴も解消へ

本年度は、地域情報化基盤の中心となる施設「地域イントラネット基盤」の整備を行っています。

町内一斉放送も可能に

この基盤は、役場、小中学校、地区センターなどの施設を光ファイバ網で接続し、行政情報の提供など公共的な目的で利用するものですが、平成22年度に整備予定の「テレビ難視聴対策」「ブロードバンド・ゼロ地域の解消」にも幹線として活用されます。

地域情報化基盤整備って何をやるの？  
安全で安心なまちづくりが進行中

携帯電話エリアの拡大  
携帯電話エリアは、町や通信事業者が施設整備を進め、昨年未だに小屋瀬・元木・冬部・星野・江刈馬淵の5地区で利用できるようになりまし。今後は、通信事業者が光ファイバ網を貸し出し、さらに不感地域の解消を進めます。

工事への理解と協力を

工事期間中は、皆さんの住まいの付近で、電柱に光ファイバを架設する作業を行います。冬期間で交通事情が悪い中での規制などにより大変ご迷惑をお掛けしています。また、工事関係者が土地の所有者の方々に工事に関する同意、敷地への立ち入りなどをお願いする場合がありますので、併せてご理解とご協力をお願いいたします。